

第6章「地(知)の拠点」連携地域の概要

広島大学「地(知)の拠点」中山間地域・島しょ部対策領域では、現地体験授業などの実施において広島県内の7市町・9地域との強い連携を構築している。本事業が、地域に学び地域に貢献する人材育成の仕組みとして動き出したことから、広島大学や「地(知)の拠点」整備事業の取り組みに対して、地域や市町から大きな期待を受けている。



図 5-1 「地(知)の拠点」中山間地域・島しょ部対策領域の連携地域

1. 安芸太田町 井仁地域

井仁地域は、中国自動車道戸河内 IC 及び加計スマート IC から車で 8 分程度と都市部からの近接性を持つ地域である。一方、標高 550m にある集落は、人口 56 人、高齢化率 44.6% で中国地方における過疎地域の代表的例でもある。井仁地区は、平成 11 年日本棚田百選、平成 12 年に広島県景観大賞を受賞している。

地域では、少子高齢化や人口減少等により、人材不足による交流基盤の弱体化、棚田景観の



棚田とともに生きる井仁地域



交流館（旧井仁小学校）

維持が困難になるなどの課題がある。そのなかで、住民が平成23年度から地域計画づくりに取り組み、将来の地域のあるべき姿を模索している。

住民主体の地域計画づくりでは、地区の拠点となる旧小学校を活用し、都市交流事業や都市住民の参入による棚田の景観保全、休耕地の活用等に向けた取り組みを行っている。これらの取組は、地区住民がこれからも棚田と共生し、美しい景観と故郷を後世に残すこ

とに誇りをもって生きることができる地区づくりを目指している。

地域では、体験作業と地域の方の講義を通じて、地域の活動を学生が理解し、地域と広島大学との交流を深めながら継続的な連携や大学の地域支援・貢献につながることを期待されている。

2. 呉市豊町大長

瀬戸内海島しょ部にあり「安芸灘に浮かぶみかんと歴史の島」という言葉に代表される大長は、大長みかん発祥の地であり、広島県のみかんブランド産地である。また、当地にある御手洗は、古くから商業が盛んであり、町並み保存地区を中心とした観光に力を入れている。

地域では、農業と観光で地域活性化を図るべく、特産みかんの加工・製品化と特産



豊町大長のみかんと瀬戸内の多島美

品販売などを進めている。

地域では教養ゼミやその後の展開を通じて、地方創生や活性化につなげる発展的な交流連携を進めたいとの思いが強い。これまでの広島大学の地域連携活動については、高く評価していただいている。



特産みかんを使った清美ジャム

3. 大崎上島町 シトラスかみじま・金原農園

大崎上島町の農業は、傾斜地における柑橘類の生産が主体である。産地では、高齢化や担い手不足、柑橘類の価格低迷によって、農業従事者の減少が続いており、耕地面積の減少、遊休農地の拡大がみられる。

しかし近年は、トマトなどのハウス栽培の経営、ブルーベリーなどの観光農園の入込み客の増加、レモンの産地化も進められている。さらに、温暖な気候と風土を活かした柑橘類やブルーベリーなどの栽培と併せて、季節に応じた農業体験や自



シトラスかみじまの施設ハウス栽培



柑橘のハウス栽培のようす

慢の加工品づくりができる「まるごと島体験」「家族の一員として迎える民泊」のプログラムも展開されている。

このような地域にあるシトラスかみじまは、Iターン農業者の受け皿となり、新規就農者の意欲的な活動が見られる。地元の生産者も各種の特産かんきつの露地栽培だけでなく、施設ハウス栽培にも意欲的に取り組み、高級かんきつ「せとか」など新たな品種を組み込んだ経営をおこなっている。

4. 大崎上島町 食文化海藻塾・大崎内浦漁協

大崎上島町の養殖漁業は企業的経営が多く、マダイ・ヒラメなどの養殖・種苗生産をいち早く始めるなど意欲的な取り組みが行われている。同時に島全体で漁業体験等がメニュー化されている。

漁協では、「マダイの里」などの栽培漁業を展開する中で、養殖作業・餌やり、養殖見学・貝堀りなどの体験型漁業・見せる漁業に取り組んでいる。同時に、特産品の開発もおこないながら観光漁業への取組みも進められている。



体験型漁業のようす



食文化海藻塾が開かれる大串海岸

また、大崎上島町食文化海藻塾では、磯や浜辺で、海の生き物や海藻の観察・採集をおこなう自然観察会を開いている。海藻がどう育ち、何が食べられるかなど、海藻の食文化づくりと新たなマーケットの創造まで考える、新たな活動が展開されている。

5. 世羅町 世羅幸水農園

世羅幸水農園は、世羅高原にあり、寒暖差の大きい気候を生かして梨などの果物の生産をおこなっている。県内では、世羅大豊農園とともに梨の生産の拠点となっている。農園では、家族ぐるみで果樹の全面協業経営をおこない、法人経営によって福利厚生充実をはかりながら後継者育成にも力を入れている。また、世羅町で取組んでいる6次産業ネットワークを通じて、地域との連帯と共存をはかる経営を目指している。

世羅幸水農園では、55ha余りの圃場を持ち、幸水を中心に年間約1千百トンが収穫さ



幸水農園のようす

れる。「ビルネ・ラーデン」と名付けられた直売所では、農園で生産された果物や加工品等が販売され、都市住民との交流窓口となっている。

梨一筋であった農園は、現在、ぶどう・いちご・すもも・桃なども栽培し、果物狩りも楽しめる多品種の果樹園に生まれ変わっています。また、ワイン用のぶどうの栽培も行っている。



ビルネ・ラーデン

6. 世羅町 世羅大豊農園

世羅大豊農園は、世羅町の中心部に位置し、標高が450m前後のなだらかな高原の中の梨等の生産拠点です。農園では、幸水農園と同じく法人経営をおこない、家族ぐるみで生産をおこない、梨の生産を通じて、豊かな人間環境をつくりや生きがいある生活を目指している。

幸水を中心とした梨園41ha（総面積80ha）では、年間約1千トンが収穫される。「山の駅」という名称の直売所があり、農



梨農園のようす



山の駅

園で生産された果物や加工品などが販売され、生産者と消費者をつなぐ窓口となっている。

また、梨栽培に関連して、四季折々にいろいろなイベントを企画して、園内の見学、作業体験、農業研修などをおこなっている。

7. 三次市 道の駅ゆめランド布野

三次市は、農林業を中心とした「市内産業の6次産業化の促進」を目指すとともに、自然に育まれた文化・伝統などを活かした「市内観光の活性化」が進められています。また、三次の資源（自然、祭、町並み、人材）を掘り起こし、訪れた人々を三次や三次製品のファンにするための農家直売所、農家レストラン、農家民宿・農家民泊（感動の田舎泊まり）にも取り組み、交流を通じた地域活性化につなげています。



道の駅ゆめランド布野



布野のこだわりアイス

道の駅ゆめランド布野は、市や地域団体が
出資する株式会社布野特産センターが運営し、
農をコンセプトに地域農業の活性化を経営理
念とし、地域と連携した経営を目指していま
す。具体的には、地域活性化、地場産業活
性化、地域情報発信、都市との交流や人口増加
のための拠点として位置づけられています。

布野だからできるアイスの味にこだわった
まるごと布野アイス屋さん、布野と作木町で
生産された旬の野菜にこだわった布野ふれあ
い市場、ふれあい市場で販売されているもの

を使ったふるさとバイキングレストランが特徴です。

8. 東広島市 ファーム・おだ

ファーム・おだのある小田地域は、
中山間地域にあり高齢化が進んでい
ます。地域には自治組織「協和の郷・
おだ」があり、ファーム・おだをは
じめ地域にある多様な組織との連携を
はかりながら地域づくりがおこなわ
れている。

このなかでファーム・おだでは、「清
流の水と暖かい心で一致協力・夢と希
望の郷づくり」、「緑豊かな自然を守り、



小田城跡からみる地域のようす



米粉パン工房 パン&マイム

みんなの力で楽しく明るい農業を築
こう」という目標を掲げて集落法人化
を進めてきた。現在は、集落の 95%に
あたる 154 名が法人に加わり、経営規
模は 103ha である。生産しているのは、
コメ、大豆、小麦、そば、野菜、米粉
用米などである。地域で資源をうまく
循環させることを目指して、農畜連携
による土作りに始まり、直売所での農
産物や加工品販売、米粉パン工房の運

営などをおこなっている。

今後、ファーム・おだでは、若者を雇用し地域の後継者として育てていくために、収益性の高い野菜などへの作付け転換や農作業の効率化、清流小田米のブランド化や米粉パン、味噌などの加工部門の強化などを進め、収益性の高い事業体を目指している。

9. 広島市 いいね太田川隊・太田川漁業協同組合

太田川は全長 103km、流域 1690 km²の一級河川で、80 種の魚が生息しており、アユ、アマゴなどの釣り（遊漁）が楽しめます。太田川漁業協同組合では、組合員によって投網、舟釣、やな、刺網、かに網などの漁が行われ、放流事業も積極的にも取り組んでいる。

以前は、河川域に繁殖するヨシ等は地域農業にとって貴重な資源であったが、地域



太田川漁業協同組合



ヨシが茂る吉山川のようす

農業の変化によってヨシ等の利用がなくなっていった。現在は、ヨシ等が過剰繁茂し、川床の陸域化などが進行している。良好な河川環境の維持と漁場の改善には、ヨシの刈り取りや河川に流れるごみの除去などが必要である。

いいね太田川隊は、漁場の保全と親水空間の形成を目的として、太田川支流の吉山川で、約 1 ha のヨシ刈りや水辺の教室を開いて一般市民への環境教育などを積極的におこなっている。